

【研究】助成申込書

助成コード

0000

※太枠内の白いセルに11ポイントで記入してください。
 ※文字の大きさ(11ポイント)は変更しないでください。印刷時に文字が切れる場合は、行幅を広げてください(列幅は変更不可)。

記入日(西暦 yyyy/m/d)	2026年7月1日	
氏名	全銀 太郎	
ふりがな(ひらがな)	ぜんぎん たろう	
生年月日(西暦 yyyy/m/d)	1985年5月1日	
年齢(本年4月1日現在)	38歳	
勤務先_大学名	全銀大学	
学部等	経済学部	
職名	准教授	
郵便番号	100-0005	
住所(都道府県から)	東京都千代田区〇〇〇1-1-1	★の箇所はプルダウンから選択 該当ありの場合は下段に詳細を記
E-mail	taro_zengin@zengin-u.ac.jp	
電話番号(ダイヤルイン)	03-6267-1234	
電話番号(学部代表)	03-6267-1000	
兼職の状況	※大学(他大学を含む)以外で報酬を得ている兼職(常勤)の状況を記入	
兼職の有無	あり ⇒ 下欄に社名を記入	
社名	〇〇審議会	
自宅_郵便番号	103-0000	必ず大学アドレス以外の メールアドレスを記入してください
住所(都道府県から)	東京都中央区〇〇1-1-1	
E-mail(大学アドレス以外)	zengintaro@gmail.com	
電話番号(携帯)	080-1234-5678	
電話番号(固定)	03-1234-5678	
本年度中の変更予定	※上記勤務先・兼職・自宅に関する本年度中の変更予定を記入	
変更予定の有無	本年度中に変更予定あり ⇒ 下欄に変更予定時期と内容を記入	
変更予定時期と内容	2026年10月から〇〇大学経済学部に異動(役職:准教授)	
研究分野	経済分野	
研究形態	共同研究 ⇒ 下欄に共同研究者名を全員記入	
共同研究者名	甲 次郎	
助成希望額(万円単位)	100万円	※単独研究100万円以下、共同研究150万円以下
研究テーマ	日本経済における〇〇が与える影響	
他機関への重複応募	※本研究テーマに関する他の財団、機関等(文部科学省を含む)への重複応募(予定を含む)について記入。当財団より先に他機関の助成が決定された研究は、当財団の助成対象外となります。	
応募(予定)の有無	あり ⇒ 下欄に応募(予定)先の機関名を記入	
応募(予定)先の機関名	〇〇財団、〇〇振興会	
研究期間	翌々年度末(2029年3月末)まで【変更不可】	

【事務局使用欄】 助成歴

助成額	
助成率	0%

【研究】助成希望額の資金使途(内訳)

【事務局使用欄】 受付番号

0000 00 000

※太枠内の白いセルに記入してください(黄色のセルは自動計算・自動転記されますので、記入しないでください)。内訳項目は1項目1行で記入し、項目数に応じて記入行を追加、削除してください。

※文字の大きさ(11ポイント)は変更しないでください。印刷時に文字が切れる場合は、セルの書式を「折り返して全体を表示する」にしたうえで、行幅を広げてください(列幅は変更不可)。

小計項目 内訳項目	金額(円)	構成比	具体的な内容・積算根拠と本研究における必要性 ※構成比の高い項目は特に具体的に記入
旅費	小計 450,000	45%	※行先・人数・日数・回数・目的(必要性)を明記
国内旅費	50,000		〇〇学会(開催地未定)への参加、1人、2027年10月。研究発表を行い、フィードバックを得る。新幹線往復3万円、宿泊費2泊2万円
海外旅費	400,000		「〇〇conference 2027」への参加(開催地イギリス〇〇大学、日本発)、1人、3泊4日。研究発表を行い、フィードバックを得る。往復航空代25万円、滞在費15万円
「内訳項目」の詳細は『助成金の資金使途について』を参照してください。			
人件費・謝金	小計 140,000	14%	※委託・作業内容を明記
研究協力者謝金	60,000		意見交換のため〇〇研究所〇〇研究員を研究協力者として招聘する際の謝礼。打合せ2回×30,000円
研究補助者人件費	80,000		所属大学の人件費基準をもとに算出。仕事内容はデータ収集、分析等。月40時間×2,000円×1か月。
参考文献・資料購入	小計 70,000	7%	
書籍購入	70,000		「〇〇ジャーナル」(〇〇に関する参考書籍)14,000円×5冊
小計、内訳金額の両方に金額を入力			
英文校正・論文投稿	小計 100,000	10%	
英文論文校正料	20,000		
投稿料	80,000		国際的な学術誌「〇〇」への投稿費用(500USD)
PC・プリンタ等	小計 235,000	24%	※他用途でも使用可能なため、必要性を明記
PC	235,000		本件のビッグデータ分析に使用。現有のPCでは性能不足で作業困難なため高性能機が必要。〇〇社(製品名)
消耗品	小計 5,000	1%	
用紙・印刷等	5,000		学会発表に使用する用紙・印刷費
その他	小計	0%	
「上記合計額」と「助成希望額」が一致			

上記合計額 1,000,000 100% ←「上記合計額」は、「助成希望額」と一致するようにしてください。
 助成希望額 1,000,000 TRUE

↑「K32」で申込書の助成希望額を円単位で自動転記(消さないでください)。

【研究】経歴書

[事務局使用欄] 受付番号 0000 00 000

※文字の大きさ(11ポイント)は変更しないでください。印刷時に文字が切れる場合は、行幅を広げてください(列幅は変更不可)。

※記入欄(行)は、適宜追加、削除してさしつかえありません。

※記載順は問いません。

【学歴】

(西暦)年月～年月	内容
19xx年4月～19xx年3月	全銀大学経済学部卒業 学士
19xx年4月～19xx年3月	全銀大学大学院経済学修士課程修了 修士

【職歴】

(西暦)年月～年月	内容
20xx年4月～20xx年3月	〇〇大学経済学部 講師
20xx年4月～現在	全銀大学経済学部 准教授

【主な研究歴】

(西暦)年月～年月	内容
20xx年4月～20xx年3月	日本経済における～の分析
20xx年4月～現在	金融市場における～に与える影響
20xx年4月～現在	日米の～に関する比較研究

【主な助成歴・受賞歴】(当財団の助成歴、受賞歴を除く)

(西暦)年月～年月	内容
20xx年10月～20xx年3月	〇〇財団 20xx年度研究助成
20xx年〇月	〇〇財団△△賞受賞

【所属学会等】

〇〇学会、△△学会

【研究】主著[事務局使用欄] 受付番号 **0000 00 000**

※文字の大きさ(11ポイント)は変更しないでください。印刷時に文字が切れる場合は、行幅を広げてください(列幅は変更不可)。

※記入欄(行)は、適宜追加、削除してさしつかえありません。

※記載順は問いません。また、直近5年より以前の著作については、以下の内容を充足するWebページが閲覧可能であれば、当該URLを記載することでもさしつかえありません。

【直近5年間の主な著作】

発表年(西暦)	タイトル・著者名・掲載誌名・巻号等の書誌情報
2026年	金融市場における～、全銀太郎、全銀大学紀要(22)
2024年	〇〇編著「日米の～与える影響」〇〇出版、第9章「国際通貨制度の～」担当189-210頁

【直近5年より以前の主な著作】

発表年(西暦)	タイトル・著者名・掲載誌名・巻号等の書誌情報
2020年	「日本経済における～に関する分析」〇〇出版
その他WEBページ参照	https://www.~.jp/zengintaro
	URLを指定する際は、最新情報に更新されていることをご確認ください

【研究】共同研究者申込書

助成コード

0000

※複数名の場合は、シートをコピーして、1名ずつ作成してください。
 ※太枠内の白いセルに記入してください。
 ※文字の大きさ(11ポイント)は変更しないでください。印刷時に文字が切れる場合は、行幅を広げてください(列幅は変更不可)。

記入日(西暦 yyyy/m/d)	2026年7月1日
氏名	甲 次郎
ふりがな(ひらがな)	こう じろう
生年月日(西暦 yyyy/m/d)	1987年8月2日
年齢(本年4月1日現在)	36歳
勤務先_大学名	全銀大学
学部等	経済学部
職名	講師
郵便番号	100-0005
住所(都道府県から)	東京都千代田区〇〇〇1-1-1
E-mail	jiro_ko@zengin-u.ac.jp
電話番号(ダイヤルイン)	03-6267-5678
電話番号(学部代表)	03-6267-1000
兼職の状況	※大学(他大学を含む)以外で報酬を得ている兼職(常勤)の状況を記入
兼職の有無	なし
社名	
自宅_郵便番号	260-0000
住所(都道府県から)	千葉県千葉市中央区〇〇1-1-1
E-mail(大学アドレス以外)	koiro@gmail.com
電話番号(携帯)	080-1234-1234
電話番号(固定)	なし
本年度中の変更予定	※上記勤務先・兼職・自宅に関する本年度中の変更予定を記入
変更予定の有無	なし
変更予定時期と内容	
【事務局使用欄】 助成歴	

【共同研究者】経歴書

※以下の記入欄(行)は、適宜追加、削除してさしつかえありません。
 ※記載順は問いません。

【学歴】

(西暦)年月～年月	内容
19xx年4月～19xx年3月	全銀大学経済学部卒業 学士
19xx年4月～19xx年3月	全銀大学大学院修士課程修了 修士

【職歴】

(西暦)年月～年月	内容
20xx年4月～現在	全銀大学経済学部 講師

【主な研究歴】

(西暦)年月～年月	内容
20xx年4月～現在	日本経済における〇〇が与える影響

【主な助成歴・受賞歴】(当財団の助成歴、受賞歴を除く)

	内容

【所属学会等】

〇〇学会

【直近5年間の主な著作】

発表年(西暦)	タイトル・著者名・掲載誌名・巻号等の書誌情報

【直近5年より以前の主な著作】(当該著作のURLを記載いただいても構いません。)

発表年(西暦)	タイトル・著者名・掲載誌名・巻号等の書誌情報

アンケート

今後の参考とさせていただきますので、ご協力をお願いします。

氏名 **全銀 太郎** (申込書から自動転記されます)

今回の助成は、何でお知りになりましたか。(複数選択可)

- 大学の先輩研究者・同僚から聞いた
- 当財団の過去の助成者から聞いた
- 大学の教職員向けWebサイトで知った
- 学会のWebサイトで知った

⇒学会名:

- 助成財団センターの「助成情報navi」で知った
- 当財団のWebサイトで知った
- 当財団のチラシで知った

⇒掲示・配布場所:

- 過去に当財団の助成に応募したことがあり、知っていた
- その他

⇒具体的に:

当財団の助成について、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。
(周知方法、申込書の記載内容等)